

ハイキング同好会参加者寄稿

雲取山登山に
参加して

市川 正 (昭和41年電気科卒)



昨年秋にハイキング同好会に入会しました。

同好会の初めての山行は紅葉の浅間隠山でした。残念ながら曇空模様で景色を堪能することは出来ませんでした。同好会の皆様と顔見せ登山が出来ました。

二回目は平成25年12月、積雪の奥武蔵・二子山でした。三回目、平成26年1月も積雪の箱根・神山でした。道を間違え巻き道を歩いてきました。2月・3月は天候不順で中止となりました。

そして4月、東京都の最高峰で百名山に名を連ねる雲取山が予定されていました。参加会員への配慮から鴨沢(奥多摩)コースと三峰(奥秩父)コースの2ルートが設定されていました。私は3年前に雲取山に登っていましたが、その時は三条の湯泊で雲取に登り、鴨沢に降りるコースでした。したがって、今回は迷わず初めての三峰コースを選択しました。後は、天気にも恵まれる事です。

4月27日当日朝、天気は快晴。28日も良さそう、気温も20度を超すと。しかし、山の気温は舐めてはいけません。100m上がるごとに0.5度下がります。雲取山は2000mを超すので、地上よりおよそ10度低くなります。夜中地上が10度なら山頂は氷点下になります。実際、28日朝山頂付近は凍っていました。

寒さ対策も整え三峰駐車場へ向かう。我が家(浦和)から三峰には高速を利用するとかえって遠回りになるので、川越から日高に抜けて国道299号線、秩父から国道140号を通過して行くこととしました。秩父市内で若干渋滞です。そうです、羊山公園の芝桜祭りの渋滞です。しかし市内を過ぎてからは順調でした。途中コンビニにより、今日の昼ご飯と夜のおかずと液体燃料(酒)を仕入れました。なにしろ、山小屋の液体燃料は高いので、そのぶん重くなりますが頑張ります。

国道140号線をひたすら山梨方面に走らせます。大滝地区を抜けて間もなく旧道に入ります。何年か前三峰妙法ヶ岳に登った時通った道です。たしか、トンネルの中に交差点があり左折して三峰神社に行った記憶があります。ところが、トンネルは通らずダムサイトを左折して神社方面に入りました。新しい道路が出来ていたのです。でも、トンネルの中に交差点も面白いですね。

9時40分駐車場に着きました。三峰組は、杉山さんと嵯峨さんと私の三人です。二人は早く着いたとの事、待たせてすみませんでした。

9時50分出発。駐車場から石畳の道を山側に登ると雲取山、妙法ヶ岳方面の指導標に出ます。指導標に従い鳥居をくぐり、緩い登りです。妙法ヶ岳(山頂には三峰神社の奥の院が祀られている)分岐を過ぎて間もなく、炭焼き窯跡のある炭焼き平に着きました。ここから道は徐々にきつくなり、地蔵峠に着きます。小休止の後、一登りして霧凧ヶ峰に着きました。急に視界が開け、両神山や和名倉山が目飛び込んできます。ここには休憩舎があり、テーブルベンチも設置されていて、時間も11時30分なのでここで昼食を摂る事としました。

霧凧ヶ峰から少し下ると、お清平に出ます。ここからが三峰ルートの難所か、きついアップダウンが繰り返されます。岩場ありの急坂を喘ぎ喘ぎ登り、前白岩の肩に着きました。一息入れて前白岩山に到着です。急坂を下ると、今は荒れた白岩小屋に着きました。帰りの登山者が休憩中で「白岩山と雲取山の北斜面は残雪が多くアイゼンが必

要」と、また、「雲取は男坂が良い」とアドバイスを受けました。そこでアイゼンを装着し、40分程急登して白岩山に到着です。鹿が御出迎えをしてくれました。アイゼンを外し小休止の後、急坂を下り芋の木ドッケを通り、さらに梯子場の急坂を下ります。1時間ほど下ると道が緩くなり、鞍部の大ダワに着きました。再びアイゼンを装着し、本日最後の登り男坂を30分ほど登って山荘に到着しました。

鴨沢組はまだ到着していません。

とりあえず、ビールをグブー。うまい。

山荘の時系列は早い。9時消灯と言う事で早めに晩御飯を済ませ、消灯までコンビニで仕入れた液体燃料で反省会。部屋も私たち7名に1部屋を割り当ててもらい、ゆっくりすることが出来ました。

朝食は4時からとの事。その後に御来光です。4時50分、朝焼けの中、真っ赤な太陽が登ってきました。大感激です。

5時17分、アイゼンを装着しザックを山荘に預けて雲取山山頂目指し出発です。急坂を登り、一旦緩くなって再び急登して30分程で山頂に着きました。富士山バッチリ、南アルプスも大展望。3年前来た時は雲で見えなかったのが、ますます大感激です。記念撮影後のモーニングコーヒーもおいしかったです。

山頂で鴨沢組と別れ山荘へ戻ります。小休止の後復路、三峰神社駐車場を目指して下山をしました。

今回の山行は三峰ルートピストンと言う事で雲取山は1回登ったが、霧凧ヶ峰、前白岩山、白岩山は2回上った事になる。少々ハードでした。ちなみに、三峰とは妙法ヶ岳・白岩山・雲取山の三山を言うとの事です。



時代を先取りした技術の研究に努め、顧客のあらゆる要望に応える事により、自然に調和したより良い生活環境を創出しています。

測量調査
土木設計
地盤調査
補償コンサルタント
土地家屋調査



株式会社 三山コンサルタンツ

代表取締役社長 佐々木 進 (昭和40年探鉱科卒)

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目3番地1

TEL 03-5328-7020 FAX 03-5328-7021

E-mail : s-sasaki@miyama-con.com

送電線測量設計協力会